

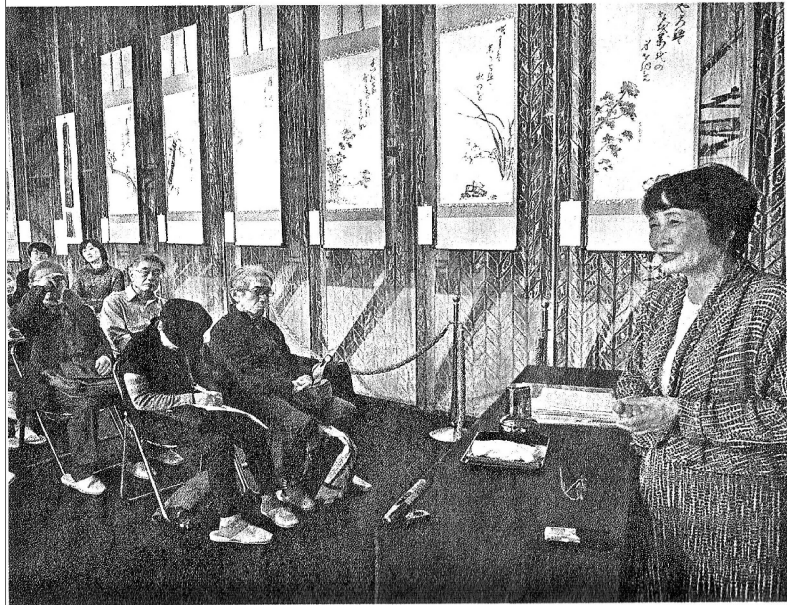
干行物多敷裏面につく

黄檗山萬福寺文華殿第44回秋季特別展

田上菊舎展—その雲遊の旅—特集

万福寺の句「山門を出れば日本ぞ茶摘み歌」

田上菊舎 遊びの心学んで



田上菊舎の生涯や作品について、顕彰会の岡さん(右)の講演を聞く来場者たち—宇治市五ヶ庄・万福寺文華殿

講演会は、万福寺文華殿で開かれた「田上菊舎展」(30日)に合わせ、火曜休館。有料に合わせた企画、30人が訪れた。下関出身の菊舎は夫の死後に得度し、松尾芭蕉と親鸞の足跡を追って俳諧の旅に出た。生涯に2万2千歩を歩いたとされる。句が多い」と話した。

「茶摘み歌」の句に関して岡さんは「万福寺に伝わる中国文家、莊長華さん(34)が披露した。『耳目を驚かし』と記して

宇治で顕彰会長 生涯を語る

万福寺(宇治市五ヶ庄)の情景を「山門を出れば日本ぞ茶摘み歌」と詠み、門前に句碑のある女性俳人の田上菊舎(1753〜1826年)についての講演会が14日、万福寺文華殿であった。菊舎顕彰会会長の岡昌子さん(73)が、山口県下関市が、旅人々々との交遊を楽しんだ菊舎に倣い、「遊びの精神を見直そう」と呼び掛けた。

二〇一七年十月十八日から十一月三十日まで黄檗宗の本山萬福寺文華殿において軸・短冊・稿本・書簡など七十余点を一堂に田上菊舎展が開催された。念願であった菊舎ゆかりの萬福寺での企画展が実現することになり、顕彰会としては又と無い機会を得られたわけで、三門前の句碑建立に関する初公開資料を揃えるなど、遺漏無きよう細心の注意を払って準備に臨んだ。

会期中は琴奏者莊長華氏を招いて古琴の弹奏を行い、岡会長による「身は風雲の過客」と題する講演も行われ好評を博した。左の新聞記事は十一月十五日付京都新聞をそのまま転載した。



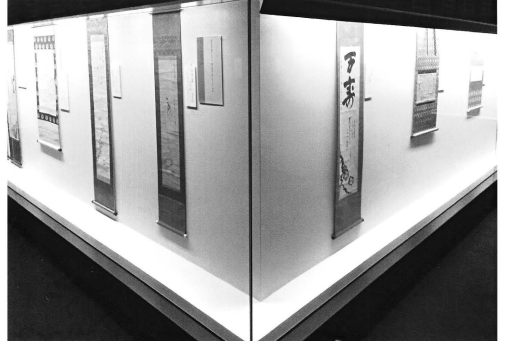
菊舎句碑14年振りの墨直し



菊舎展観覧顕彰会会員の皆さんと



莊長華氏による七絃琴弹奏



萬福寺文華殿展示風景

萬福寺文華殿菊舎展 出展主要作品一覧

錦帯橋雪景図	河野糸白斎筆 菊舎題	蓬萊の亀図	中川小鶴題字・菊舎筆併題	松月図	交淡斎筆 菊舎題
富嶽図	菊舎筆併題	悦山道宗像	元高筆 自題	蘭図	菊舎筆併題
絵暦図	菊舎筆併題	桜図	菊舎筆併題	俳句一首	菊舎書
紅葉水車図	菊舎筆併題	竹図	菊舎筆併題	菊図	菊舎筆併題
五字一行「菊開伏水東」	菊舎書	柳図	菊舎筆併題	美人と蛤図	鳥文斎栄之筆 菊舎題
旅姿図	菊舎筆併題	菊籠図	菊舎筆併題	梅図	菊舎筆 亀井南冥題
毛利元義・菊舎短冊貼交	毛利元義・菊舎筆	蘭図	菊舎筆併題	和歌・御ことば書	菊舎・藤潔子書
鬘髻図	菊舎筆併題	牡丹・亀図	菊舎筆併題	四君子画賛 竹図	慈僊筆 源 恭道題
蘭菊図	菊舎筆併題	醉中戯画	菊舎筆併題	菊図	慈仙筆 高辻俊長題
梅図	菊舎筆併題	松図	菊舎筆併題	梅図	慈仙筆 小倉豊季題
五言律詩・俳句	菊舎書	糸瓜図	養巖筆 菊舎題	蘭図	慈僊筆 菅原長親題
六字冠句	菊舎書	菊図	菊舎筆 香川景柄題	其の他句碑建立資料	刊行物 菊舎小品多数

インタビュー

下関市立歴史博物館
松田学芸員に聞く

問 六月三日から「女流文人田上菊舎」展が開かれましたが期間中の入場者は?

答 約二千六百人です。展覧会企画実施に当たった感想は?

答 俳諧・漢詩・和歌・琴・茶など諸芸に秀でた菊舎芸術の幅の広さというものを、身をもって実感しました。史学を専門としてきた私には、新鮮な体験でした。心に残ったことはありますか?

問 情報を聞きつけて遠方からも問い合わせがあったり、海外の研究者がわざわざ菊舎の資料を見に来られて、非常に驚きました。

答 問 今後に向けて一言。菊舎を通してつながるご縁が、今も広がり続けています。今後も博物館活動を通じて、菊舎の世界をより多くの方々に発信していきたいと思っています。

お便り紹介

♪研修旅行に初めて参加、皆さまのやさしいお心遣いにたいへん楽しく有意義な日を過ごしました。旅好きの私ですが菊舎の生き方は本当に素敵。会う人ごとにそのすばらしさを話しています。

宇部市 ゆかり

♪宇治の墨直しの行事に参加させていただき有難く菊舎に近づくことができました。会長の講演・七絃琴・展示の数々、深く心にしみたりしました。

伊賀市 利江

♪有情の時雨迄花を添えて素晴らしい菊舎展でした。莊氏の弾琴もきくと菊舎尼の耳に届いたことでしょうね。嬉しい一日でした。

大阪府 永子

♪菊舎展と句碑墨直しに出席いたしました。皆さまが如何に菊舎に傾倒され、また顕彰会の活動を称えておられるお姿につくづく感銘を受けました。

横浜市 裕子

菊舎顕彰会ホームページ
ページ随時更新中!
一字庵通信もお楽しみに!

編集後記

今号の特筆は何といっても萬福寺での菊舎展です。菊舎と言えは萬福寺。それほどゆかりの深い萬福寺で、会長念願の企画展実現の報告は、しばし胸の高鳴りを抑えられない出来事でした。念ずれば通ず、会長の執念と企画力に脱帽です。 佑